

ソーラーシステム用T型分岐ケーブル

用途： 薄膜太陽光発電システムの給電用コネクタ付きケーブル(H-CV、PV-CC)の並列接続に使用。

特長： ケーブルを分岐する際、分岐部がT型形状になっているので屈曲することなく直角分岐配線できます。分岐仕様は2分岐から作成可能です。

基本仕様： 4分岐仕様 ※下図は極性+側コネクタ仕様(寸法は表1参照)

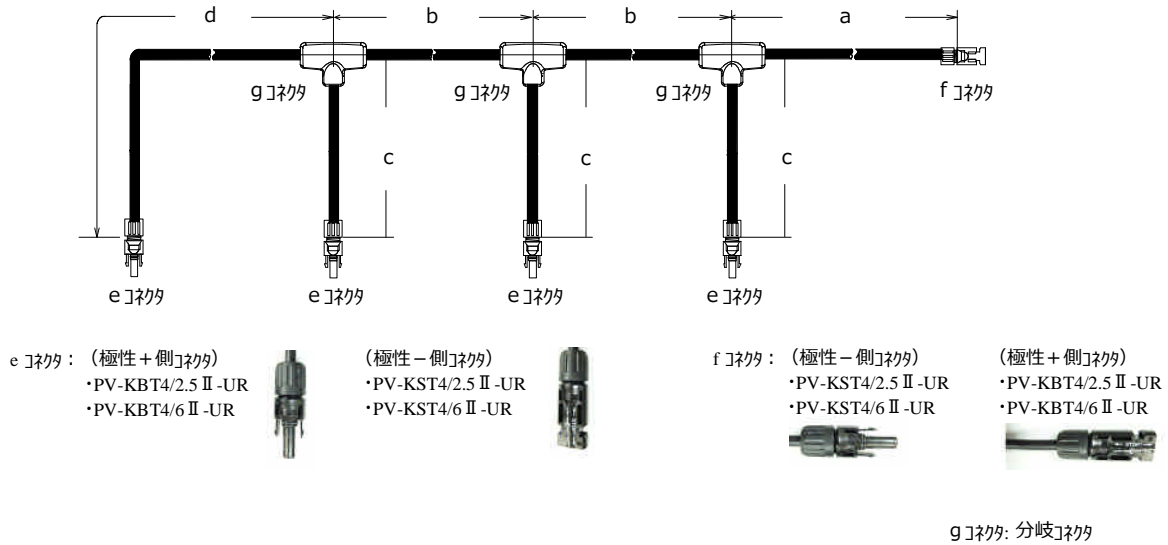


表1

品番	各寸法 (m)				分岐数	電線
	a	b	c	d		
BMH2/01/10/20#4	1.0	1.0	1.0	2.0	4	H-CV 2.0mm ²
BMP3/01/10/20#4	1.0	1.0	1.0	2.0	4	PV-CC 3.5mm ²



品番構成： B M H 2/01/10/20 # 4

品名	コネクタ	電線種類	電線サイズ	a寸法	c寸法	d寸法	eコネクタ極性	分岐数
BRANCH CABLE (分岐ケーブル)	MC4 (MC社)	H (H-CV) P (PV-CC)	2 (2.0mm ²) 3 (3.5mm ²)	01 (1m) 02 (2m) 03 (3m) ⋮	10 (1m) 20 (2m) 30 (3m) ⋮	10 (1m) 20 (2m) 30 (3m) ⋮	# (+と-極セット品) + (+極品) - (-極品)	2 3 4 5 ⋮

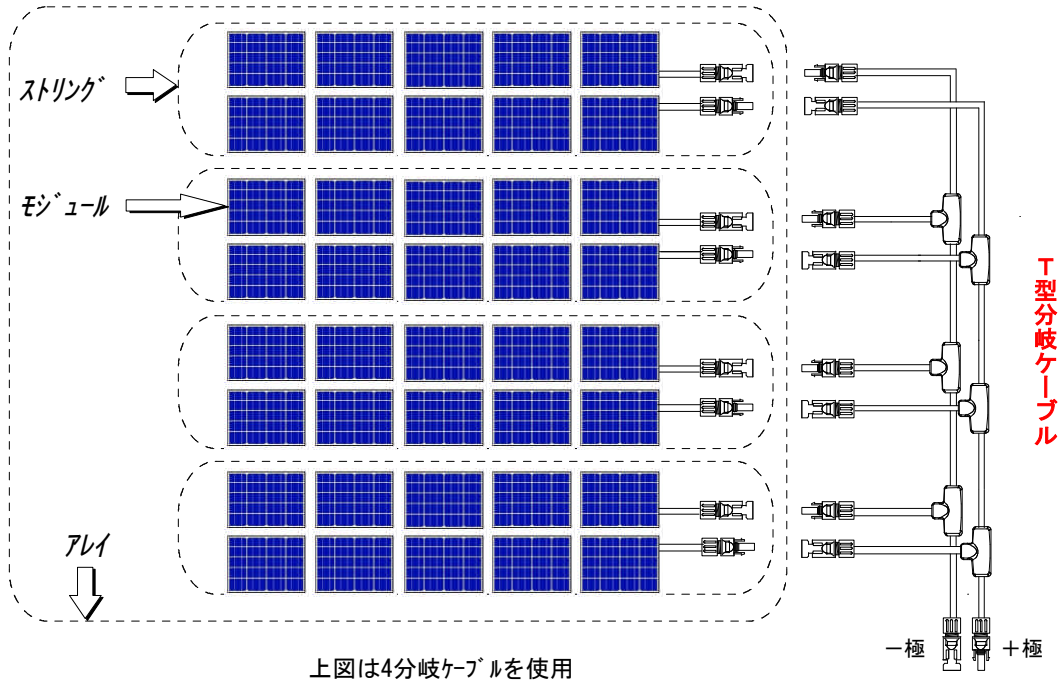
仕様：

分岐コネクタ サイズ* (W×D×H) <mm>	W68×D44×H20
使用温度範囲	-40℃～+90℃
定格電圧	DC1000V
定格電流	30A
保護等級	IPX7
適用電線	H-CV 2.0mm ² PV-CC 3.5mm ²
適用コネクタ	MC4 ^ラ ラ ^グ コネクタ (Multi-Contact社製)

ソーラーシステム用T型分岐コネクタ取扱説明書



T型分岐ケーブルの接続例（メガソーラー）



上図は4分岐ケーブルを使用

【豆知識】ソーラーパネルの接続方法は直列接続又は並列接続にて行われています。

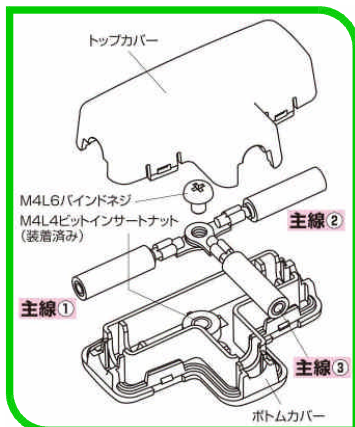
弊社のT型分岐ケーブルは薄膜ソーラーパネルに於けるストリングの並列接続、又は各モジュールの並列接続にご利用いただけます。 ※上図は容量計算等をしていないイメージ図です。
 では直列接続と並列接続の違いは何か？と言いますと、直列接続の場合最大出力電流は一定、最大出力電圧はパネルの接続枚数倍の出力が得られ、並列接続の場合最大出力電圧一定で、最大出力電流がパネルの接続枚数倍となります。負荷の必要容量により選ばれるといいでしょう。
 また、直列接続の場合、パネルの1枚に影が出来ると接続された回路自身が発電しなくなります。これに比べ並列接続の場合はパネルの1部が影に隠れても他の回路で発電が可能となるメリットがあります。又、余分な線の引き廻しが無く現場での作業効率のUPにもつながります



T型分岐コネクタ(単品販売)の使用方法



〈外観図〉



〈内部図〉

分岐コネクタのみでのご注文も可能です

左内部図の主線①②③(別売)に同梱の丸端子を圧着し、主線①→②→③の順に重ね合わせていく。
 次に同梱のバンドネジにて1.2N・mにて締め付けを行う。
 T型分岐コネクタ専用止水剤(KE-3424G)をボトムケースに流し入れ、端子部及びバンドネジの頭部が露出しない様に充填を行う。

(止水剤の乾燥目安時間は表面硬化で約15分)
 最後にトップカバーをかぶせる(この時、4ヶ所のツギが確実に嵌合されている事を確認する)
 尚、弊社指定の止水剤以外を使用しての御利用は責任を負いかねます。

※右下のQRコードにて組立て方の動画が見られます

